

長崎検定

一級さん

Vol.48

長崎の良さを伝えていきたい

辻

宏幸

さん

長崎歴史文化観光検定の最難関を突破した1級ホルダー。
その卓越した識見には、なにやら一言ありそうです。
ざつくばらんに寄稿願いました。

私は昔から歴史、特に長崎の歴史に興味がありました。

高校時代は、「郷土研究クラブ」に入り、春徳寺の裏山にある「東海の墓」の清掃や拓本採り、樺島のうなぎの観察等を行っていました。

県職員の時は、ソウルで長崎県のPRや対馬市役所で対馬の観光PRを行ったこともありましたが、また、退職前は東京で5年間、観光や物産関係の仕事を行い、旅行会社やマスコミ等への長崎県内の紹介や、修学旅行の誘致等を行いました。

また、長崎楽会東京会に入り東京で長崎に縁のある人の話を聞いたり、江戸連という会に入り東京の町中を歩いたりしていました。

長崎歴史文化観光検定試験については、1級合格者を数人知っていたので、挑戦したかったのですが、過去問題を見ると難問だらけで、腰を落ち着けて勉強をしないと合格は無理だと思っていました。

退職後、長崎に戻り、長崎楽会・長崎会にも入り、毎月の座学、フィールドワークに参加し、長崎の事を勉強しています。

また、旅行会社に再就職したため、旅行関係の国家資格（海外・国内の旅行業務管理者、添乗員資格）を取りました。

この勉強と併せて、平成29年度に長崎歴史文化観光検定2級を受験し、合格しました。しかし、1級はまだ自信がありませんでした。

旅行をすると、博物館等で古文書が展示してありますが、なかなか読めないことに忸怩たる思いをし、浦上キリシタン資料館での月2回の古文書を読む会に入会し勉強しています。ここで1級取得者の澤田忠和さんと出会いました。

澤田さんから、長崎検定1級を受験しないかと勧められましたが、当時は仕事をしていたので二の足を踏んでいました。

昨年の退職を機に腰を落ち着けて勉強を行い、

今年初挑戦で合格しました。

しかし、まだまだ勉強しなければならないことが多く、長崎文献社出版の本をはじめ、長崎に関係した本を中心に読んでいます。

趣味は旅行で、特に観光バスに乗り、ガイドさんの話やその土地のガイドの話聞くことが楽しみです。毎回新発見があります。

現在、時々身内での観光ガイドを行っています。今後、これを機会に本格的に長崎の良さを多くの人に伝える案内人になればと思っています。



【プロフィール】

1955年2月生まれ。長崎市出身。長崎県職員として、韓国・ソウル、対馬市、東京事務所等で勤務。退職後は旅行会社等に勤務。趣味は旅行、読書。